

### 第3 障害者スポーツ文化センターラポール運営事業

横浜ラポール及びラポール上大岡は、市内唯一の障害児者のスポーツ・文化・レクリエーション振興の中核拠点施設として、障害児者の多様化するニーズに即した事業を行いました。事業の実施にあたっては、多様なプログラムの展開、地域資源との連携を強化した取組、障害者のスポーツ・文化活動に関する積極的な情報の発信に努めました。重点を置き実施した項目は、次の3項目です。

#### ◇入退館システムの再構築

施設利用ルールの見直しについて、新型コロナウイルス感染症の影響による対応を優先しながら、各施設毎の点検と併せて行いました。また、オンライン予約ができるような入退館システムの再構築に着手しました。

#### ◇オンラインによる情報発信

情報発信サイト「ラポール For Smile」の活用をはじめ、SNSを活用して情報発信を進めました。聴覚障害者支援として LINE による相談も新たに開設し、積極的に取り組みました。

#### ◇新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、個人利用の多いフィットネスやプールに固定してスポーツ指導員を配置する等、利用しやすい仕組みをつくりました。また、ラポール上大岡と一体運営による新たな事業展開について、検討を進めました。

(実績)

※( )内は昨年度

施設名	開館日数	施設利用者数
横浜ラポール	345 日 (252 日)	182,967 人 (105,589 人)
ラポール上大岡	305 日 (247 日)	18,582 人 (10,850 人)

## 1 スポーツ振興

#### ◇オンラインによる情報発信

新型コロナウイルス感染症の影響による健康・体力維持をテーマにした「健康相談コーナー 便り」の定期配信や、情報発信サイト「ラポール For Smile」、各種 SNS を活用してスポーツ教室・イベント情報を発信し、広報・啓発に取り組みました。

#### ◇指導体制の充実

「毎日がレッスン！」をスローガンに、プールとフィットネスルームに曜日・時間帯を固定して指導員を配置し、特に配慮が必要な方には、担当を決め、利用者情報を指導員間で共有する体制を整備しました。

#### ◇新型コロナウイルス感染症対策

ハマピック等の大会イベントは、原則として無観客とし、受付方法やプログラム編成の工夫、コンパクトな大会運営等、各競技団体との調整を図りながら、感染拡大予防策を実施し、開催しました。

(実績)

※( )内は昨年度

スポーツ大会・交流イベント	参加者	845人	(63人)
リハビリテーション・スポーツ教室、相談等	参加者	1,770人	(826人)
スポーツ・レクリエーション教室	参加者	4,983人	(2,106人)
障害者スポーツ指導員・ボラ研修等	参加者	420人	(422人)
地域での支援事業 (ラポール上大岡含む)	参加者	1,846人	(1,529人)

## 2 文化振興

### ◇文化事業の取組

創作工房では、常時「アート体験教室」を実施し、簡単に楽しめる空間を創出しました。また、少人数であっても、ラポールシアターを利用して気軽に楽しめる事業を実施しました。

### ◇広報活動の実施

神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターと連携し、障害者施設での各文化活動について情報共有しました。また、市内障害者関連事業所に対して、文化活動の実態調査を行い、活動状況を把握しました。

### ◇「Dance Dance Dance@YOKOHAMA2021」との連携

横浜市文化観光局と連携し、「Dance Dance Dance@YOKOHAMA2021」関連企画として、障害のある方を対象に、身体の使い方を学ぶワークショップを開催し、クイーンズスクエアで開催された「横浜ダンスパラダイス」のステージで発表しました。

(実績)

※( )内は昨年度

講座・行事	49件・参加者 6,333人 (34件・参加者 4,623人)
-------	------------------------------------

## 3 聴覚障害者情報提供施設

### ◇オンライン研修の実施

手話通訳研修 36 回の内 13 回、要約筆記者研修 29 回の内 8 回をオンライン実施した他、教材をオンライン上に置き、通訳者が効果的にスキルアップできる環境作りに努めました。手話通訳者・要約筆記者派遣・紹介人数は、昨年度比 125%の 11,420 人でした。

### ◇出張相談・ビデオ通話の実施

感染防止に配慮しながら、特に課題のある高齢ろう者宅に絞って訪問相談を実施しました。訪問や来所での相談が困難な場合は、LINE のビデオ通話による遠隔相談で対応し、相談対応実績は昨年度比 119%の 1,446 件となりました。

### ◇介護保険事業所等との連携

介護保険事業所や民生委員・児童委員協議会等、身近な支援者に啓発事業の案内を送付し、その結果、地区民児協等計 9 団体から「出前講座」の依頼がありました。また、公式 LINE アカウント「らぽらいん」を開設し、毎週各種情報を発信しました。

(実績)

※( )内は昨年度

手話・筆記通訳派遣	延べ 11,420 人 (9,069 人)
聴覚障害者相談	延べ 1,446 回 (1,210 回)

#### 4 ラポール上大岡

##### ◇多様なスポーツ活動や健康づくりの実践

中途障害者地域活動支援センターや特別支援学校を対象に、スポーツ・レクリエーションや健康体力づくりを支援したほか、難病・高次脳機能障害等の対象別プログラムや各種教室を実施しました。指導者育成については、横浜市スポーツ協会との共催研修会等により、実践的な支援を行いました。

##### ◇文化活動の実施

社会参加と余暇支援につながる文化プログラムとして、小中学生対象の「絵画の広場」や、チョークアートやソーシャルサーカスのワークショップを実施しました。また、区役所や農協・障害者就労啓発施設での各種作品巡回展示等を開催しました。

##### ◇情報発信

情報発信サイト「ラポール For Smile」を活用し、スポーツ・文化・レクリエーション教室やイベント情報を発信しました。また、港南区民文化センター「ひまわりの郷」や商業施設内で、障害者スポーツ用具を展示し、啓発に取り組みました。

(実績)

※( )内は昨年度

地域支援（横浜ラポール含む）	参加者	1,846 人(1,529 人)
主催プログラム	参加者	16,078 人(6,861 人)
共創パートナー事業	参加者	2,504 人(2,235 人)